令和６年５月17日
第１回瑞浪市地域公共交通協議会資料

資料７

陶町新地域公共交通ネットワークの導入について

１．陶地区の課題と基本方針

令和６年３月に策定した「瑞浪市地域公共交通計画」（以下、「計画」）において、地域公共交通に関する陶地区の課題を分析し、課題に対応する基本方針を下記のとおり定めた。

（課　　題）　※計画P57

・コミュニティバス陶線は、市中心部と繋がっていないことから、利用者が少なくなっている。

・市中心部と陶地区を結ぶ東鉄バス明智線も利用者は少なく、市民からは運行本数や時間帯、運賃などについて使いにくいとの意見も寄せられている。

（基本方針）　※計画P69

「地域の特性や住民ニーズにあった交通手段の確保」

・コミュニティバス陶線の利用者数の減少に対応するとともに、交通空白地を改善し利便性を高めるため、デマンド交通への見直しなどに向けて、地域との協議、調整を実施する。

・合わせて東鉄バス明智線への乗継を支援するため、上限運賃制度、乗継割引などの施策を検討する。

２．陶地区の課題に向けた対応（陶町新地域公共交通ネットワークの導入）

上記基本方針に基づき、コミュニティバス陶線をデマンド交通へ転換すると共に、東鉄バス明智線の市内上限運賃制度の導入を行うことで、陶町内から瑞浪市内への移動需要に応えると共に路線バスの存続に繋げる。

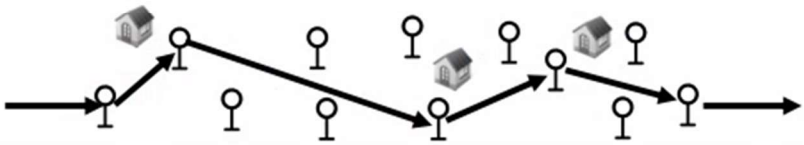
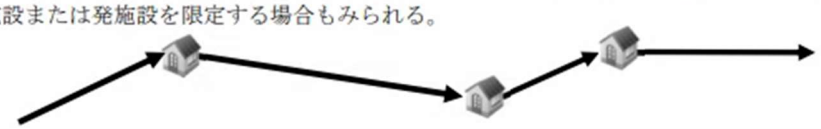
なお、要望のあった陶町内から瑞浪市内への安価な移動手段については、ルートや時間帯が路線バスやタクシーと競合することから実施しない。

３．陶町内デマンド交通の導入

３－１．デマンド型運行方式の類型

既存の路線バスのような定路線型で予約時のみ運行する「定路線型」や、予め設定されたバス停のみを乗降場所とする「自由経路ミーティングポイント型」、自宅からの乗車が可能な「自由経路ドアツードア型」など複数の運行方式が存在する。

資料 7

	運行方式の特徴（イメージ）[自宅 バス停等]
A 定路線型	路線バスやコミュニティバスのように、所定のバス停等で乗降を行うが、予約があった場合のみ運行し、予約がなければ運行しない方式。“空気バス”の解消を図ることができる。
B 迂回ルート・エリアデマンド型	定路線型をベースに、予約に応じて所定のバス停等まで迂回させる運行方式。バス停等まで遠い地域に迂回ルートを設定することにより、公共交通空白地域の解消を図ることができる。
C 自由経路ミーティングポイント型	運行ルートは定めず、予約に応じ所定のバス停等間を最短経路で結ぶ方式。最短経路の選択により所要時間を短縮するとともに、バス停等を多数設置することにより、バス停等までの歩行距離を短縮することができる。一般タクシーとの差別化を図るため、目的施設または発施設を限定する場合が多い。 
D 自由経路ドアツードア型	運行ルートやバス停等は設けず、指定エリア内で予約のあったところを巡回するドアツードアのサービスを提供する運行方式。一般タクシーとの差別化を図るため、目的施設または発施設を限定する場合もみられる。 

（運行方式の比較）

	B　迂回ルート型	C・D　自由経路型
メリット	・運行ルートが決まっているので利用者にとってわかりやすい。	・自宅から目的地までのドアツードアに近いサービスのため、高齢者等にとって安全に外出が可能。
デメリット	・自宅前ではなく、バス停までの移動が必要。 ・乗降場所で待つことが必要。（現行バスと同様）	・瑞浪市の場合、バスが走行できる道路は、地区の主要道路になるため、迂回ルート型との違いは小さい。 ・乗降場所によっては、小型車両でなければ対応できない。 ・所要時間が先より長くなる場合がある。 ・タクシーと同様のサービスのため、タクシー事業者との調整が必要。

３－２．運行ダイヤの類型と比較

運行ダイヤには「基本ダイヤ型」と「時間フリー型」がある。特徴は以下のとおり。

（運行ダイヤの比較）

方式	基本ダイヤ型	時間フリー型
特徴	・概ねの発着時刻が設定されており、予約に応じて運行。	・需要に応じて随時運行。
メリット	・相乗りが促進され、効率的な運行になる。 ・コミュニティバスの運行本数に近い運行とすることで、地域間の公平性が高い。	・利用したいときにいつでも利用でき利便性が高い。
デメリット	・利用できる時間が限定される。	・必要車両台数が増える可能性あり。 ・相乗りになりにくい。 ・タクシーとの違いがない。

３－３．デマンド型運行方式

便　　数	６便
ル　ー　ト	現行の陶線を基本とし交通空白地へのルート拡大
運行方式	迂回ルート・エリアデマンド型
ダ　イ　ヤ	基本ダイヤ型

市内北部地域で運行しているデマンド交通の運行方式は、谷戸の道路沿道に集落があり、基本的な運行経路は決まってくることから、必要な個所のみ迂回する「B迂回ルート・エリアデマンド型」を採用している。

また、運行ダイヤについては、車両台数の最小化による経費削減や、コミュニティバスの運行地域との公平性、相乗りの促進も考慮し、「基本ダイヤ型」を採用しているが、運行方式、運行ダイヤ共に、タクシー事業者の運行を妨げないことを基本としている。

同様の視点で、陶地区におけるデマンド運行導入の検討を実施した結果、陶地区においても、タクシー事業者の運行の妨げにならないことを基本とするため、運行方式は「A定路線型」又は「B 迂回ルート・エリアデマンド型」、運行ダイヤは「基本ダイヤ型」とする。

なお、便数は市内北部地域で運行しているデマンド交通と同様６便とし、ルートは現行陶線を基本とするが、車両のダウンサイジングが図られることから、狭隘道路への侵入や転回が可能となるため、交通空白地へのルート拡大も考慮する。

ルートの拡大については、第１回瑞浪市公共交通協議会にて協議後、陶町区長会に提案し意見を聴取する。

【定路線型＋基本ダイヤ型の検討】

予約がない地域にも運行することとなり非効率だが、車両のダウンサイジングや予約がなければ運行しないことから、コミュニティバスに比べ経費の削減は図られる。

【迂回ルート・エリアデマンド型＋基本ダイヤ型の検討】

予約がない地域は迂回することから、上記方式に比べより効率的であり、市内北部地域で採用している本方式は、陶地区においても有効である。

以上の検討から、運行方式を迂回ルート・エリアデマンド型とし、現行の陶線に比べ本数が増えること（４便→６便）や、ルートが拡大することにより利便性が向上することを訴求し、乗車率の向上を図る。

４．デマンド交通の運賃

運　　賃　　１００円

市内公共交通の運賃体系は、コミュニティバスが距離に応じ１００円から４００円、市内北部地域のデマンド交通は５００円と、距離に応じた負担となっている。

こうした考え方を基本とし、後述する東鉄バス明智線の運賃と合わせ５００円で陶町内から瑞浪市内へ移動できる運賃体系とするため、デマンド交通の運賃を現行コミュニティバス同様１００円とする。

５．東鉄バス明智線の市内上限運賃制度の導入

上限運賃　　４００円

上述の運賃体系とするため、東鉄バス明智線の市内上限運賃を４００円とし、４００円を超える差額（最大１９０円）を本市が負担する。

運賃の支払いは、事前にチケットを購入するチケット払いとする。チケットは１０枚綴り１冊４０００円、換金不可、販売場所を「東鉄バス瑞浪乗車券発売所」、「陶コミュニティセンター」、「稲津コミュニティセンター」、「商工観光課」を想定。

なお、利便性を高めるために、チケット支払いであれば東鉄バス明智線の市内乗車を可能とするがお釣りはでない。

資料７

（参考）東鉄バス明智線　瑞浪駅前からの片道運賃表

R6. 2. 1改定

明智方面のりば				駄知・多治見方面のりば			
停留所	運賃	停留所	運賃	停留所	運賃	停留所	運賃
【 明智線 】				【瑞浪＝東駄知＝多治見線】			
竜門通り	200	水上	560	竜門橋東	200	山神温泉口	540
土岐橋	200	樋の下	570	元町	200	紅陵高前	550
市原	200	陶小学校前	570	上野町	200	下石貢	560
益見橋	200	陶幼児園	580	一色	200	阿庄口	570
萩原口	240	陶町口	580	上一色	210	西陵団地前	580
下小里	290	陶ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ前	580	下山田	210	石拾	580
稲津公民館前	290	陶旭町	580	山田団地口	280	昭和農園前	590
小里	290	陶東町	590	上山田	280	小谷口	600
稲荷下	350	吹越	590	石橋	330	下沢	610
興徳寺口	350	関屋口	600	堀越	330	現代陶芸美術館口	620
山の田	350	吉良見	600	本郷町	400	多治見総合ｸﾞﾗﾝﾄﾞ口	620
下川折	400	ふれあい会館口	610	東駄知	400	多治見高校口	630
川折口	450	大田	610	丸山橋	410	上町	630
川折	450	上田	630	長者町	410	本町７丁目	630
田尻	520	徳間	630	南山公園前	410	豊岡町3丁目	630
大川	550	新町	640	山神	490	まなびﾊﾟｰｸ前	630
大川団地前	560	明智駅前	640	総合公園前	540	多治見駅前	630

（参考）東鉄バス明智線　吹越からの片道運賃表

瑞浪駅前方面のりば			
停留所	運賃	停留所	運賃
陶東町	２００	下川折	５００
陶旭町	２００	山の田	５５０
陶ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ前	２００	興徳寺口	５５０
陶町口	２００	稲荷下	５６０
陶幼児園	２３０	小里	５６０
陶小学校前	２３０	稲津公民館前	５６０
樋の下	２８０	下小里	５６０
水上	２８０	萩原口	５７０
大川団地前	３４０	益見橋	５８０
大川	３４０	市原	５９０
田尻	３６０	土岐橋	５９０
川折	４４０	竜門通り	５９０
川折口	５００	瑞浪駅前	５９０

資料 7

出発 陶コミュニティーセンター前 → 到着 稲津公民館前

再検索

2024年04月18日 09:29 出発　レンタカー検索

時間が早いルート | 運賃が安いルート | 乗換が少ないルート　帰り道を検索

1	10:38 ⇒ 10:55	早 17分	安 530円	楽 乗換0回	
2	13:28 ⇒ 13:45	17分	安 530円	楽 乗換0回	

出発 陶コミュニティーセンター前 → 到着 瑞浪駅前

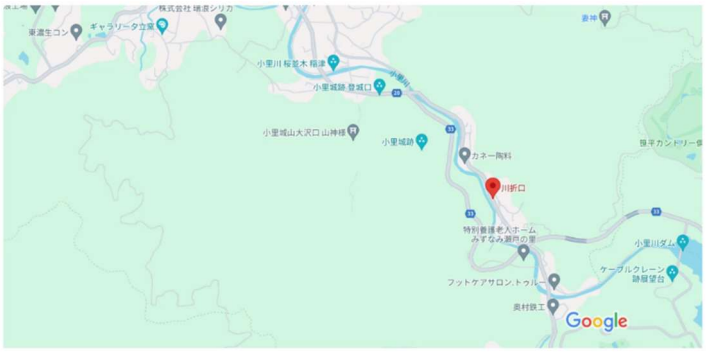
再検索

2024年04月18日 09:29 出発　レンタカー検索

時間が早いルート | 運賃が安いルート | 乗換が少ないルート　帰り道を検索

1	10:38 ⇒ 11:07	早 29分	安 580円	楽 乗換0回	
2	13:28 ⇒ 13:57	早 29分	安 580円	楽 乗換0回	
3	15:58 ⇒ 16:27	早 29分	安 580円	楽 乗換0回	

Google 川折口



Google 川折

Google 田尻

Google 吹越

６．今後の予定

別紙「陶町新地域公共交通ネットワーク導入スケジュール」のとおり。